

県勤労者写真展が開幕 福島



知事賞受賞作「黄金の刻」など作品に見入る来場者

県勤労者写真展は十二回目の今年は県内から二百日、福島市の県文化センターで開幕した。最優秀賞に当たる知事賞受賞作「黄金の刻」(福島市、斎藤哲雄さん)をはじめ力作が並び、来場者の視線を集めている。

県労働福祉協議会が、勤労者への芸術表現の機会提供を目的に毎年開催している。県や県写真連盟、福島民友新聞社などの後援。六、羽田則男県労協会長、武

石愛子県商工労働部総括参事、嶋原会長、馬目重信東北労金原本部長がテープカットし花を添えた。

展示は十六日まで。最終日は午後二時から同センターで表彰式が行われる。

【受賞者名は〇日付で掲載しました】

2007.9.13
福島民友 ↑

県勤労者写真展が開幕 福島



テープカットで開幕を祝った県勤労者写真展

第六回県勤労者写真展は十二日、福島市の県文化センターで開幕した。二百一点を展示している。

県労働福祉協議会の主催。県、県教委、福島民報社などの後援。県内の勤労者から公募した。

知事賞に輝いた福島市の斎藤哲雄さんの「黄金の刻」、福島民報社長賞に選ばれた同市の佐藤秀樹さんの「閉ざされた記憶」など創造性が豊かで撮影技術の優れた作品が並んでいる。

開場時間は午前九時から午後五時(最終日は同三時)まで。最終日の午後二時から表彰式を行う。

初日は会場で開会式を行った。羽田則男県労協会長があいさつした後、関係者がテープカットした。(入賞者は11日付に掲載済み)

2007.9.13
福島民報 ←